

豪雨災害対応

平成30年7月6日～7日にかけての豪雨により、広島県内をはじめ、中国四国地方に甚大な災害が発生しました。尾道市においても、土砂崩れ・土石流が多数発生し、残念ながら犠牲者もでました。亡くなられた方々へ謹んで哀悼の意を表しますとともに、被害に遭われた皆様に対して、心よりお見舞いを申し上げます。尾道青年会議所では、この豪雨災害をうけ、昨年策定された「災害時における相互支援運営規程」に基づき、7月7日に「2018年西日本豪雨災害対策本部」を設置しました。その後は「尾道青年会議所防災マニュアル」及び「災害時における相互支援四者協定(尾道市・尾道市社会福祉協議会・因島JC・尾道JC)」に沿って活動しました。

尾道JCにおいては、災害対策本部の本部長を安本理事長とし、その下に「情報収集チーム」「人的支援チーム」「物資支援チーム」「資金管理チーム」を設け、夫々活動を行っています。

(記事：鍋島 巧)

今回の災害支援については、公益社団法人 日本青年会議所の池田祥護会頭を始め正副会頭役員団の皆様、中国地区協議会ならびに広島ブロック協議会からも会長を始め多くのメンバーのご協力を頂いております。

まだまだボランティアは続きます。引き続き今月末までは実施が確定しております。皆様の引き続きのご協力を宜しくお願い致します。

(記事：財政局長 政成 啓行)



「情報収集チーム」

災害対策本部、各チーム及び連絡する団体との情報を共有し交通整理を図る事を主な活動としました。JCメンバーや関係機関からもたらされる情報を整理し、事実関係を確認した後、現役メンバー全員を対象とした「災害対策LINEグループ」に情報を提供。また、Facebookを活用し、災害に遭われた地域の皆様に有益な情報や、ボランティア情報などを発信しました。

「人的支援チーム」

本部からの要請によって支援頂ける方を管理し被災地の状況に応じて派遣。JCメンバーのボランティア参加などの取りまとめや、社会福祉協議会と連携しボランティア運営の支援を行いました。

「物資支援チーム」

関係各所より要求された支援物資調達、また、送られてきた物資の整理を行い、随時、社会福祉協議会に物資を預託しました。

「資金管理チーム」

豪雨災害に関する義援金のとりまとめを行います。



災害時系列

- 2018.7.6 広島県に特別警報(大雨)発令
- 2018.7.7 事務局に災害対策本部を設置
現役メンバー全員を対象とした「災害対策LINEグループ」を設置し情報共有開始
- 2018.7.7 12時 尾道市全域断水発生
- 2018.7.8 Facebookにて独自に災害復旧支援情報の発信を開始
- 2018.7.9 広島県社会福祉協議会より物資提供の依頼
尾道バイパス通行止め解除
- 2018.7.10 尾道市・尾道市社会福祉協議会(以下、社協)・因島JCとの対策本部設置
社協と連絡を取りながら人的支援と物資支援の計画策定
- 2018.7.13 鳥取ブロック協議会、OB諸先輩方始め関係各所より頂戴した各種支援物資を災害時における相互支援四者協定に基づき、尾道市社会福祉協議会に預託。その後も、随時支援物資を尾道市社会福祉協議会に預託
- 2018.7.14 尾道JCからボランティア協力開始
山陽自動車道全線通行止め解除
- 2018.7.18 JR山陽本線 三原～福山 運転再開
- 2018.7.19 厚木JCより9名・高砂JCより専務様が、物資の提供とボランティア応援。
- 2018.7.20 厚木JCよりボランティア応援
やまなみ街道全線通行止め解除
- 2018.7.21 松江JCより8名、ボランティア応援
尾道市内全域への送水作業完了
- 2018.7.22 箕面JCよりボランティア応援
- 2018.7.28 大阪JCよりボランティア応援

物資提供などご支援いただいたOB諸先輩方始め
関係各所の方々に厚くお礼申し上げます。

六月例会

無から有を生み出す『広報の力』



6月18日（月）尾道国際ホテルにて6月例会行事
テーマ「無から有を生み出す『広報の力』」が開催されました。設営は総務広報委員会が担当、講師に元長野オリンピック公式webサイト責任者で、現在は茗荷谷界限プロジェクト代表をつとめておられる稲富滋氏をお招きしご講演頂きました。

JCにおいて、広報が単調で事務的なイメージを連想されがちで、そのイメージの低さから広報活動が低調になりがちでした。今回、この地味なイメージを転換するた



めに、「広報」という本筋の内容からではなく、青年会議所メンバーになじみのある「地域の魅力発信」という側面から「広報」へのアプローチを試みました。
講演では、元々知名度が低かった東京都文

京区の茗荷谷界限が如何にしてその魅力を都内に広めていったのか、また、稲富氏から見た尾道の魅力ある所について存分に語って頂き、過去の魅力発信事業について、この講演の為に事前に尾道を訪問して頂いたうえで、高い評価を頂きました。

さらに、尾道青年会議所のweb広報について、webの専門家による忌憚なき意見・提言を頂きました。またSNSなど、webの様々なツールについて特性や投稿の仕方について助言を頂き、広報について大変多くの事を学ぶ機会となりました。
（記事：鍋島巧）



7月2日現在、11名の方から仮入会申込書を頂いております。

当委員会では毎月の合同委員会での拡大会議をはじめ、3月例会で会員の意識改革を図り、5月に「おのみち異業種交流会」を開催しました。

本年度の拡大活動は一旦締め切りを迎えました。

これもひとえに、メンバー皆様からの新規情報提供、アポ取り、訪問、クロージング等の全ての活動の賜物だと思っております。

そして、OB諸先輩方のお力添え誠にありがとうございます。

人は人でしか磨かれない。拡大こそJC運動。

今後も引き続き宜しくお願い致します。

出向者報告

◆次世代育成委員会

中国地区広島ブロック協議会の次世代育成委員会に出向させていただいております、中島です。

次世代育成委員会では、大竹JCから出向されております沖野委員長のもと魅力ある人財を育成し、地域の発展へつなげるよう力強い運動を展開しております。6月3日には三次の地にて広島ブロックアカデミーを開催しました。

今後小学生を対象に、携帯電話、携帯ゲーム機、スマートフォンなど、今、子どもたちがさまざまなメディアと付き合っていくために、情報を見極める力を身につけるメディアリテラシー教育事業を行っていく予定です。

出向して学んだことを尾道青年会議所のメンバーにもしっかりと伝えられるよう頑張りたいと思います。

(記事：会員資質向上委員会 委員長 中島裕一朗)



◆強い地域創造委員会

先日の広島ブロック協議会、強い地域創造委員会で行われたJCカップの出向報告を致します。

ワールドカップ開催中の6月30日、呉市総合スポーツセンターにてJCカップU-11少年少女サッカー大会全国大会中国地区広島ブロック予選大会が開催されました。

朝からあいにくの雨模様で雷雨の恐れもあり、本部テントやゴールの設置後に行われる予定であった開会式を省略するという異例のキックオフとなりました。

試合は広島県下12のサッカーチームが集結し、中国大会の切符を賭け非常に白熱したものであり、またグリーンカードが随所で見られるなど西野ジャパンに負けないフェアプレイ精神として事業の目指しているグッドルザー精神を非常に感じ取ることができました。

三休廻し事業のため最後まで参加することはできませんでしたが、大きなケガやトラブルも無く、無事に終える事ができました。

(記事：社会開発委員会 幹事 村橋聡)



祇園祭三休廻し

6月30日に尾道の三大夏祭りのひとつ、祇園祭が行われました。御神体を乗せた三休の神輿が市内を練り歩いた後、尾道渡船桟橋前の路上へ集結しました。幟の周りを三休の神輿が勢いよく廻りながらタイムを競う「三休廻し」が行われました。

その光景は圧巻で、見る者を引きつける熱気と情熱がありました。

当委員会では祇園祭を成功へ導くべく、また事故や怪我の無いよう、裏方として一大行事を支えました。尾道の伝統行事への参画も当委員会の大事な使命です。この後にも続々と行われる伝統的な祭りへも貢献して参ります！

(記事：社会開発委員会 今岡正英)



委員会報告

ブロックゴルフ大会実行特別委員会



ブロックゴルフ大会実行特別委員会の岡田です。今年度、歌・岡本副実行委員長の下、上半期は9年ぶりとなるブロックゴルフ大会や5月例会を実施して参りました。今後の事業はクリスマス会を予定しており、日頃メンバーをやさしく送り出してくれているご家族の方に楽しんでいただけるよう委員会メンバーでしっかりと議論を重ねて参りたいと思います。今年の異常気象にめげず残りの5ヶ月を頑張ってお参ります！

岡田 貴臣

会員資質向上委員会



会員資質向上委員会幹事の小西です。尾道青年会議所に入会させていただき半年が過ぎました。この半年間は委員会の幹事として例会、合同委員会、委員会は100%出席で頑張っています。そして、委員会メンバーをはじめ多くの先輩方との出会いやJC活動を通して、早速ですが、私の髪形とコミュニケーション能力が少し向上したような気がします。このポジティブチェンジを会員全体に広げて、資質向上に少しでもつなげられるよう邁進してまいります。

小西 琢真

地域教育推進委員会



当委員会は、「教育」について今一度、考える場を提供すると共に様々な機関を巻き込んで事業を推進していきたいと考えております。

4月例会では、畑先生をお招きし「ボトムアップ理論」～自ら考え行動する力の引き出し方～をテーマに指導的立場の方を中心に物事への向き合い方・取組み方を学んで頂くことができたと考えております。

8月に旧原田中学校にて「Survival Camp in ハラダ」～たくましさを、2つのソウゾウ力の育成～というテーマで市内小学生を対象に宿泊型の青少年育成事業を実施する予定でありましたが、7月豪雨により中止となりました。事業予定日には、原田にて委員会メンバーと尾道大学シグマソサエティ同好会で土砂の撤去等のボランティアを行いました。最後の事業は11月頃に復興を兼ねたチャリティー事業として地域教育推進事業を実施する予定です。

「ボトムアップ理論」を取り入れ、メンバーが一丸となり最後まで走り抜きたいと思っておりますので、引き続き、ご支援・ご協力の程よろしくお願い致します。

島田 昌広

社会開発委員会



社会開発委員会ではベッチャー祭りやみなと祭などの祭事や防災事業を展開しています。

当委員会を通じてベッチャー祭りとみなと祭りに参加することで改めて尾道の魅力を感じることが出来ました。また、防災事業では尾道市民の方にどう防災意識を持って頂くか課題ですが、今後も河原委員長の置きに行かない攻めた事業展開をご期待ください。河原委員長ハンパないって！

三浦 雄輔

拡大研修委員会



拡大研修委員会では、尾道青年会議所の会員拡大の重要性を改めて考えるべく、3月例会において「意識改革」をテーマに掲げました。

これからの拡大の手法や現状の問題点・改善点等、様々な意見をいただき、今後の拡大活動への考え方を再認識できたと考えております。

また5月には、尾道青年会議所で初の事業として、「おのみち異業種交流会」を開催しました。

初の事業で至らぬ点も多かったと思いますが、更なる会員拡大にむけて今後につなげていく事業になったのではないかと考えております。

今後は、仮入会員研修並びに新理事研修に向けてメンバー一丸となり取り組んでいます。

引き続き皆様のご支援・ご協力の程よろしくお願い致します。

藤田 祐輔

未来ビジョン委員会



皆様、こんにちは。未来ビジョン委員会の中司です。

我々の委員会では、魅力あるまちづくり創造事業として、尾道本通り商店街にスポットを当て、商店街の活性化と魅力の再発見をテーマに事業を進めて参ります。また、青年経済人の育成事業として、限られた業界からより多角的な経営を行うにはどうすればよいかをテーマに調査・研究をしております。11月例会では、新入会員の方々に尾道青年会議所に入会することを誇りに思ってもらえるような内容を考えております。

これから事業が目白押しとなっておりますが、皆様のご協力を宜しくお願い致します。

中司 昌克

総務広報委員会



総務広報委員会では、鍋島委員長の所信である「力」というテーマのもと総務広報活動を行っております。上半期におきましては一月例会に始まり、例会や総会の設営を行ってまいりました。また、6月例会では茗荷谷界限プロジェクト代表の稲富先生をお招

きし、ご講演頂きました。今後は8月総会や卒業例会等あり、多くの方にご支援とご協力をいただくようになりますが、何卒宜しくお願い致します。

我々総務広報委員会は現在、6カ月連続で例会出席100%を達成しております。この団結力を、実行力に変えて発信力のある広報活動を続けてまいります。

沼田 剛志

編集
後記

先日の豪雨災害で被災された皆さまに謹んでお見舞い申し上げます。また、救援活動等に懸命に取り組んでおられる皆さまへ心より敬意と感謝の意を表すとともに、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

尾道も断水生活が終わり、暑さに悲鳴をあげている間に、いつのまにか次の季節が巡ってきそうですね。バタバタした毎日を送っている私ですが、心がけていることがあります。日々の生活に『嬉しい・楽しい・美味しい・ありがとう!』と思う気持ちを増やす事です。若さを保ち、イキイキと生活できる秘訣だそうです。先日の災害や猛暑、山積みのタスク…、なかなか爽やかな気持ちになれませんが、たくさんの方に支えていただいている毎日に感謝し、笑顔の輪を広げていきたいです。いつもJCライフをご拝読いただきありがとうございます。(記事:村上 優実)

HP



facebook

